

進路だより

都立町田の丘学園校長 原島 広樹
進路指導部 第4号 令和7年12月25日発行

今年も早いもので、残りわずかとなりました。来年1月からは、それぞれの進路に向けて、具体的な取組をしていく時期となります。

中学部3年生は、高等部作業体験等で高等部の雰囲気を感じ取りながら、高等部への入学準備を進めています。高等部1年生は、進路選択の第一歩となるインターンシップを1月後半から予定しています。高等部2・3年生は多くの生徒がⅡ期の現場実習を経験し、明確に進路選択を行っています。特に3年生は卒業後の生活に向けて準備を進める時期となっております。ご家庭には様々ご協力いただきますが、どうかよろしくお願いいたします。

この冬は気温が一気に低くなり、乾燥が続き、様々な感染症が猛威を振るっています。感染症対策をしっかりとしながら、健康第一で学校生活を楽しみ、次のステップに向けての準備を着実にしていきましょう。

<A 部門高等部2・3年生 Ⅱ期現場実習を終えて>

A高2年 Hさん

☆実習先 ひかり療育園

実習の目標は、ひかり療育園の職員の皆様や利用者の方々と早くなじむことでした。文字盤で会話をしたり、自分からあいさつすることをがんばりました。とても楽しく実習ができました。

A高3年 Kさん

☆実習先 花の家

いつもと違う場所に通うのは大変だと思いました。備品を運ぶ仕事やリサイクルなど手をたくさん動かす仕事に楽しく取組めました。卒業後の進路は、いろいろ不安がありますが、楽しみでもあります。

<B 部門高等部3年生 Ⅱ期現場実習を終えて>

B高3年

☆実習先 SOMPO ケア
ラヴィーレ町田小野路

現場実習の目標は、自分から挨拶をすることでした。私は、清掃作業を頑張りました。下膳のとき、皿を重ねすぎないようにするという課題が見つかりました。

B高3年

☆実習先 一般社団法人レジスト
Reactant (リアクタント)

実習先では計量やシールはり、新聞紙折り、豆検品やスタンプ押しなど、様々な仕事ができ楽しかったです。他の利用者さんとも仲良く、協力しながら作業ができました。

< B部門高等部 1 年生 職場見学を終えて >

B高1年 Tさん

ニーズセンター花の家と、かがやきに行きました。ニーズセンター花の家では、運動とリサイクルの仕事に興味をもちました。かがやきでは、刺繍とダリア園の仕事に興味をもちました。

過去にもダリア園を訪れたことがあり、園内を歩いていると当時のことを思い出し、自然と笑みがこぼれていました。

高等部で初めての校外活動は楽しかったです。

B高1年 Nさん

ベネッセビジネスメイトと、ウェルビー市役所前センターに行きました。

ベネッセビジネスメイトでは、メールサービスのお仕事に興味をもちました。仕分ける作業が得意なので、社会人になったらやってみたいです。

ウェルビー市役所前センターでは、お話を聞いたり、電話をかけるときの言葉づかいの練習をしたりしました。緊張したけど頑張りました。

職場見学は高校生になって1番の思い出になりました。

< A部門中学部 マイクロソフト職場見学会報告 >

A 部門中学部では、11月23日（木）に、GIGA 端末を利用したリモートでの職場見学会に参加しました。

当日は、12の特別支援学校・学級の生徒46名がマイクロソフトチームズを使いウェブ会議室に集まって、職場の紹介動画をみたりグループに分かれて活動したりしました。

動画では、車いすを利用している社員さんの活躍を見ることができました。グループ活動では、違う学校の人たちが集まって自己紹介をしてお互いを知ったり、パワーポイントを使って作った旗を見せ合ったりして、楽しみながらアプリの使い方を学ぶことができました。

ICT の勉強が働きかたの手掛かりになることを実感できた良い機会になりました。



〈高等部1年生 インターンシップに向けて〉

高等部1年生は、来年1月後半からインターンシップを予定しています。
インターンシップに臨む生徒の、①行き先 ②作業・体験内容 ③インターンシップの
目標 を紹介します。

A高1年生

A高1年 Kさん

- ① ハローワーク町田
- ② 事務補助作業
- ③
 - ・時間を意識して行動する
 - ・整理整頓を意識して仕事に取り組む
 - ・報告、連絡、相談を意識して行動する

A高1年 Cさん

- ① 生活介護 きららぶどうの木
- ② レクリエーション 外出
- ③
 - ・周りの人とコミュニケーションをとる
 - ・落ち着いて体験・活動をする
 - ・インターンシップ先について知る

B高1年生

B高1年 Nさん

- ① まちのひ 町田生活実習所
- ② 運動、音楽、散歩、創作活動、室内作業
- ③ 初めて会う人や、初めて行く場所に慣れ、落ち着いて活動を行うこと

B高1年 Yさん

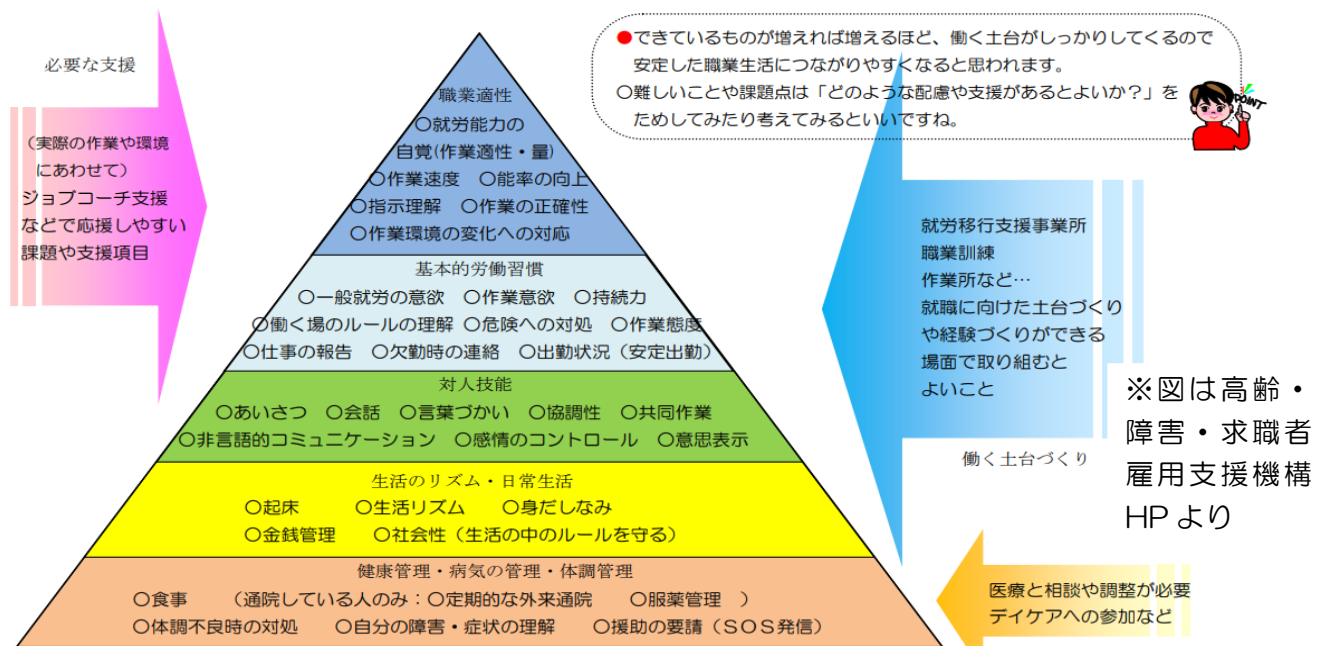
- ① ハローワーク町田
- ② シュレッダー、ゴム印押し、資料整理
- ③ 集中して作業に取り組むことと、面談で大きな声で話すことを
頑張りたいです

〈B部門高等部1年生進路学習会報告〉

高等部1年生は、12月10日（水）進路学習会を行いました。職業のA,B,Cグループに分かれて行いました。進路専任の先生方からの指導で、緊張している生徒が多く見られました。身だしなみや面接の練習、笑顔の練習などの学習に取り組むことができました。インターンシップに向けて意識を高めていく時期に、良いタイミングで今回の学習に取り組むことができました。ここで学んだことを生かして、これからの進路につなげていけたらと思います。

〈B部門中学部3年生作業学習体験報告〉

中学部3年生は、10月22日（水）と12月4日（木）に高等部へ行って作業学習体験をしました。10月22日（水）は、「食品サービス班」、「環境サービス班」、「流通サービス班」の3ヶ所に分かれて、12月4日（木）は、「喫茶班」、「事務班」、「清掃班」、「製造班」、「環境班」の5ヶ所に分かれて行いました。初めての環境で緊張している生徒が多く見られましたが、高等部の先輩方が優しく対応してくれたので、落ち着いて作業に取り組むことができました。残りの中学部生活を大切に過ごし、高等部に向けての意識をさらに高めていきたいと思います。



上の図は「職業準備性ピラミッド」と呼ばれるものです。仕事に必要なスキルを5つに分けてピラミッド型に整理し、下の段から順番に力を積み上げていく事で「働く力」が身につく事を表しています。

皆様はお子様の将来を考える際に「どんな仕事ができるだろう」とまず考える方が多いのではないのでしょうか。ピラミッドで言う一番上の「職業適性」の部分です。しかし、職業適性はその下にある「基本的な労働習慣」「対人技能」「生活リズム」「日常生活」「健康管理」の土台に支えられて成り立っています。たとえ指示理解力が高くても生活リズムが崩れていれば毎日出勤ができません。たとえ正確に作業ができて感情コントロールができなければ職場の方々に受け入れられません。「どんな仕事ができるだろう」というのは、本当は土台となる力が身についた後に考える部分なのです。

そうは言っても、全てを完璧に身につけている生徒はいないでしょう。みんなそれぞれの課題を抱えています。大切なのは自分の課題を自覚し、それを改善する努力ができるかどうかです。職業準備性ピラミッドは、自分自身の課題を視覚的に理解する為に便利なツールなので是非参考にしてみてください。